

## 第3章 構造及び性能

### 3.1 構造及び材質

- 1 給水装置については、水道法に基づいて構造及び材質が定められている。この基準には、給水装置に用いようとする個々の給水管及び給水用具の性能確保のために性能基準と、給水装置工事の施行の適正を確保するために必要な具体的な判断基準が定められている。なお、管理者が認めたものについては、この限りではない。
- 2 性能基準は、個々の給水管及び給水用具が満たすべき必要最小限の性能である「耐圧性能」、「水質性能」、「耐寒性能」、「水撃限界性能」、「逆流防止性能」、「負圧破壊性能」及び「耐久性能」について定められている。これらの性能項目は、項目ごとにその性能確保が不可欠な給水管及び給水用具に限定して適用される。
- 3 給水装置を構成する個々の給水管及び給水用具が性能基準を満足しているだけでは給水装置の構造・材質の適正を確保するためには不十分であることから、給水装置システム全体として満たすべき技術的な基準を定めている。

### 3.2 用語の定義

- 1 「一次側」とは、配水管等への取付口から水道メーター（メーター含む）までの配管をいう。
- 2 「二次側」とは、水道メーター以降の配管をいう。

### 3.3 規格及び各種のマーク

|         |           |
|---------|-----------|
| J I S   | 日本工業規格    |
| J W W A | 日本水道協会規格  |
| I S O   | 国際標準化機構規格 |

### 3.4 給水管及び継手

#### 3.4.1 鋼管

従来、使用されていた鋼管（水道用亜鉛めっき鋼管）は、機械的強度に優れているものの、腐食しやすいという欠点を有していた。そこで鋼管の内・外面に種々のライニングを施し、腐食防止を目的とした複合管が規格化されている。

ねじ接合部の腐食防止には、管端防食継手が最も効果があるが、この他管端コアを使用し、樹脂コーティング継手と組み合わせる方法もある。

なお、地中埋設管には、外面被覆継手を使用することが望ましい。

1 硬質塩化ビニルライニング鋼管

- (1) 硬質塩化ビニルライニング鋼管は、強度については鋼管が、耐食性についてはビニルライニングが分担して、それぞれの材料を有効に利用した複合管である。
- (2) 硬質塩化ビニルライニング鋼管には、屋内及び埋設用に対応できる外面使用の違う管がある。(図 3-1)

なお、一次側はSGP-VDを使用すること。

管の選定に当たっては、環境条件を十分考慮する必要がある。

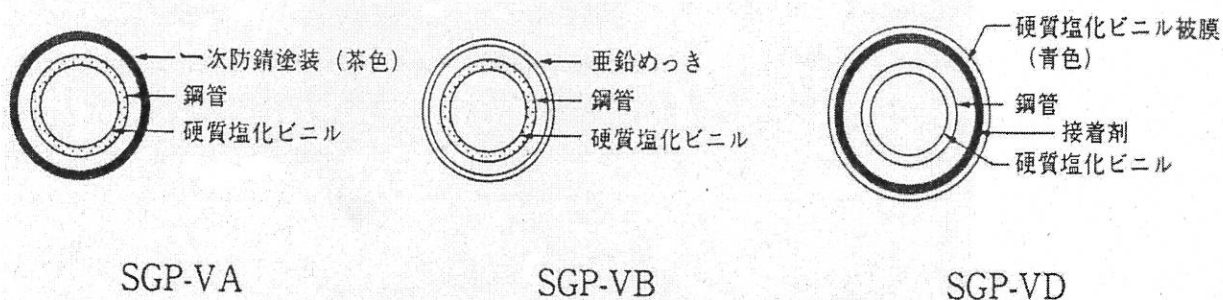


図 3-1 硬質塩化ビニルライン鋼管断面図

- (3) 管の規格は表 3-1 のとおりである。

表 3-1 管の規格

◎印は、一次側に使用する。

| 名称                     | 規格         |
|------------------------|------------|
| 水輸送用塗覆装鋼管              | JIS G 3443 |
| 水道用塗覆装鋼管               | JWWA G 117 |
| 水輸送用塗覆装鋼管の異形管          | JIS G 3451 |
| 水道用塗覆装鋼管の異形管           | JWWA G 118 |
| ポリエチレン被覆鋼管             | JIS G 3469 |
| ◎ねじ込み式可鍛鉄製管継手          | JIS B 2301 |
| ねじ込み式鋼管製管継手            | JIS B 2302 |
| ◎水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管     | JWWA K 116 |
| ◎水道配水用ポリエチレン管          | JWWA K 144 |
| 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管     | JWWA K 132 |
| 水道用樹脂コーティング管継手         | JWWA K 117 |
| 水道用エポキシ樹脂粉体内外面コーティング鋼管 | JWWA K 133 |

#### (4) 継手

硬質塩化ビニルライニング鋼管の継手は、JIS B 2301（ねじ込み式可鍛鋳鉄製管継手）、JWWA K 117（水道用樹脂コーティング管継手）による。

#### 3.4.2 ダクタイル鋳鉄管

ダクタイル鋳鉄管は、鋳鉄組織中の黒鉛が球状のため、強靱性に富み衝撃に強く、強度が大であり、耐久性がある。継手に伸縮可とう性があり、管が地盤に追従できる。継手の種類が豊富であり施工性が良い。しかし、重量が比較的重く、継手の種類によっては異形管防護を必要とする。

表 3-2 ダクタイル鋳鉄管の規格

| 名 所           | 規 格                      | 管 種                             |
|---------------|--------------------------|---------------------------------|
| ダクタイル鋳鉄管      | JIS G 5526               | K形 1種（メーターより二次側）                |
| 水道用ダクタイル鋳鉄管   | JWWA G 113<br>G120 G112  | NS 1種 モルタルライニング<br>GX 1種 内面粉体塗装 |
| ダクタイル鋳鉄異形管    | JIS G 5527               | K形 1種（メーターより二次側）                |
| 水道用ダクタイル鋳鉄異形管 | JWWA G 114<br>JWWA G 121 | NS 1種 内面粉体塗装<br>GX 1種 内面粉体塗装    |

#### 3.4.3 硬質塩化ビニル管

1 硬質塩化ビニル管の規格は表 3-3 のとおりである。

表 3-3 硬質塩化ビニル管の規格

◎印は口径 50 mm 以下の一次側に使用する。

| 名 称                    | 規 格        |
|------------------------|------------|
| 水道用硬質塩化ビニル管            | JIS K 6742 |
| 水道用硬質塩化ビニル管継手          | JIS K 6743 |
| ◎水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管       | JIS K 6742 |
| ◎水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手     | JIS K 6743 |
| 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管        | JWWA K 127 |
| 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管継手      | JWWA K 128 |
| ◎水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管   | JWWA K 129 |
| ◎水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手 | JWWA K 130 |
| 水道用硬質塩化ビニル管のゴム輪形鋳鉄異形管  | JWWA K 131 |

## 2 硬質塩化ビニル管

### (1) 管

硬質塩化ビニル管は、JIS K 6742（水道用硬質塩化ビニル管、呼び径 13～150 mm）、JWWA K 127（水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管、呼び径 50～150 mm）による。硬質塩化ビニル管は引張り強さが比較的大きく、耐食性、特に耐電食性が大である。しかし、直射日光による劣化や温度変化による伸縮性があるので配管において注意を要する。また、難燃性であるが、熱及び衝撃に弱く、凍結の際に破損しやすい。したがって、使用範囲は約－5～60℃（気温）である。特に、管に傷が付くと破損しやすいため、外傷を受けないよう取扱いに注意するとともに、管には芳香族化合物など、管の材質に悪影響を及ぼす物質と接触させてはならない。

### (2) 継手

硬質塩化ビニル管の継手は、JIS K 6743（水道用硬質塩化ビニル管継手）、JWWA K 128（水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管継手）、JWWA K 131（水道用硬質塩化ビニル管のゴム輪形鋳鉄異形管）による。

接合方法には、接着剤を用いるTS接合と、ゴム輪接合とがある。TS接合作業に当たっては、接合剤が管内に流入して断面を閉塞し、通水量を阻害するなど給水上、種々の事故や弊害を発生することがあるので注意が必要である。

## 3 耐衝撃性硬質塩化ビニル管

### (1) 管

耐衝撃性硬質塩化ビニル管は、JWWA K 118（水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管、呼び径 13～150 mm）、JWWA K 129（水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管、呼び径 13～150 mm）による。耐衝撃性硬質塩化ビニル管は、硬質塩化ビニル管の衝撃強度を高めるように改良されたものである。長期間、直射日光に当たると、耐衝撃強度が劣化することがあるので注意する。

### (2) 継手

耐衝撃性硬質塩化ビニル管の継手は、JWWA K 119（水道様耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手）、JWWA K 130（水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手）による。

管の取扱いについては、硬質塩化ビニル管に準じる。

## 3.4.4 ポリエチレン管

### 1 管

- (1) ポリエチレン管は、JIS K 6762（水道用ポリエチレン管、呼び径 10 mm～50 mm）による。ポリエチレン管には 1 種（軟質管）と 2 種（硬質管）の 2 種類がある。なお、一次側は 1 種二層管とする。（図 3-2）（表 3-4）

- (2) ポリエチレン管は、硬質塩化ビニル管に比べ、たわみ性に富み、軽量で耐寒性、耐衝撃性強さが大である。
- (3) 長尺物のため、少ない継手で施工できる。
- (4) 他の管種に比べて柔らかく、傷が付きやすいため、管の保管や加工に際しては取扱いに注意する必要がある。
- (5) 有機溶剤、石油類に触れるおそれのある場所での使用は、避けなければならない。

表 3-4 ポリエチレン管の標準寸法、質量

| 呼び径<br>(mm) | 外径<br>(mm) | 1 種管       |           |              | 2 種管       |           |           |
|-------------|------------|------------|-----------|--------------|------------|-----------|-----------|
|             |            | 厚さ<br>(mm) | 長さ<br>(m) | 質量<br>(kg/m) | 厚さ<br>(mm) | 長さ<br>(m) | 質量<br>呼び径 |
| 20          | 27.0       | 4.0        | 120/4     | 0.269        | 3.0        | 120/4     | 0.215     |
| 25          | 34.0       | 5.0        | 90/4      | 0.423        | 3.5        | 90/4      | 0.318     |
| 30          | 42.0       | 5.5        | 90/4      | 0.586        | 4.0        | 90/4      | 0.453     |
| 40          | 48.0       | 6.5        | 60/4      | 0.788        | 4.5        | 60/4      | 0.524     |
| 50          | 60.0       | 8.0        | 40/4      | 1.210        | 5.0        | 40/4      | 0.800     |

(注) 長さ 120/4 はコイル巻きの場合 120m、直管の場合は 4m であることを示す。

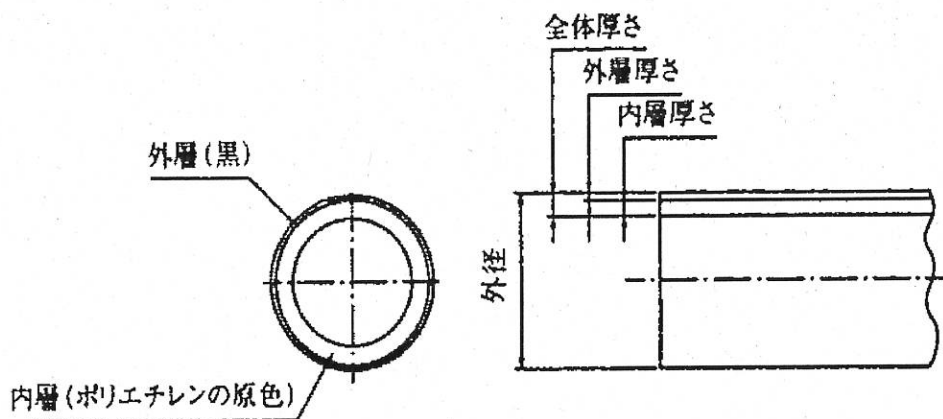


図 3-2 二層管の構造と色

## 2 継手

ポリエチレン管継手は、JIS K 6763（水道用ポリエチレン管継手）及び JWWA B 116（水道用ポリエチレン管金属継手）による。

JIS 規格の継手は、熱溶着によるスリーブ継手であり、また、JWWA 規格の継手は、冷間継手で A 形と B 形の 2 種類があるが、一次側は、冷間継手（B 形）とする。

### 3.4.5 水道配水用ポリエチレン管

#### 1 管

- (1) 水道配水用ポリエチレン管は、JWWA K 144 による。（表 3-5）
- (2) 水道配水用ポリエチレン管は、伸びが大きい材料特性と E F 接合により、地盤変動に対応する。
- (3) 強度的に優れ、軽量であるため取扱いが容易で、陸継ぎ長尺管による施行が可能である。
- (4) 他の管種に比べて柔らかく、傷が付きやすいため、管の保管や加工に際しては取扱いに注意する必要がある。

表 3-5 水道配水用ポリエチレン管の標準寸法、質量

| 呼び径<br>(mm) | 外径<br>(mm) | 厚さ<br>(mm) | 長さ<br>(m) | 質量<br>(kg/m) | 質量<br>(kg/本) |
|-------------|------------|------------|-----------|--------------|--------------|
| * 50        | 63.0       | 5.8        | 5.0       | 1.074        | 5.370        |
| * 75        | 90.0       | 8.2        | 5.0       | 2.174        | 10.870       |
| * 100       | 125.0      | 11.4       | 5.0       | 4.196        | 20.980       |

\*印は日本水道協会規格品（JWWA）です。

## 2 継手

水道配水用ポリエチレン管継手は、JWWA K 145（電気融着式）による。

### 3.4.6 水道用ステンレス鋼管

ステンレス鋼管は、JWWA G 115（水道用ステンレス鋼管、呼び径 13~50A）による。

#### 1 管

- (1) ステンレス鋼管は、ステンレス鋼帯から自動造管機により製造され、種類は SUS304 と SUS316 があり、SUS316 は特に耐食性に優れている。
- (2) 強度的に優れ、軽量であるため取扱いが容易である。
- (3) 管の保管、加工に際しては、かき傷やすり傷をつけないよう注意する必要がある。



## 2 継手

ステンレス鋼管の継手は、JWWA G 116（水道用ステンレス鋼管継手）による。（図3-3）

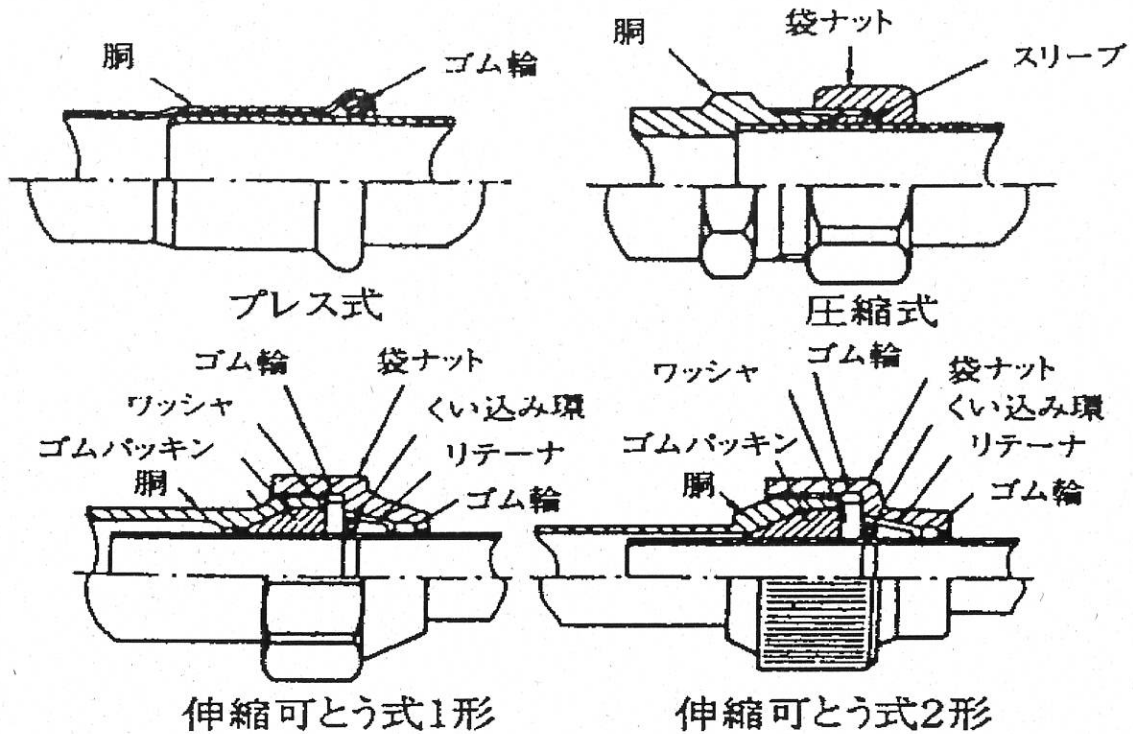


図 3-3 ステンレス鋼鋼管の継手

### 3.4.7 銅管

#### 1 管

- (1) 銅管 JWWA H 101（水道用銅管、呼び径 10～50 mm）は、引張強さが比較的大きく、アルカリに侵されず、スケールの発生も少ない。
- (2) 耐食性に優れているため薄肉化しているため、軽量で取扱いが容易である。
- (3) 管の保管、運搬に際しては凹みなどをつけないように注意する必要がある、銅管の外傷防止と土壌腐食防止を考慮した被覆銅管がある。

#### 2 継手

銅管の継手は、JWWA H 102（水道用銅管継手）による。

### 3.5 給水管に使用する管種の特徴

現在、一般的に使用されている管としては前述のとおりであるが、これらの管の特徴はおおむね、次のとおりである。

| 管種別                                 | 長 所  | 短 所   |
|-------------------------------------|--|---|
| ダクタイル鋳鉄管(内面モルタルライニング及び内面エポキシ樹脂粉体塗装) | (1)強度が大であり、耐久性がある。<br>(2)強靱性に富み、衝撃に強い。<br>(3)継手に伸縮可とう性があり、管が地盤の変動に追従できる。<br>(4)施工性がよい。<br>(5)継手の種類が豊富。             | (1)重量が比較的重い。<br>(2)継手の種類によっては、異形管防護を必要とする。<br>(3)内外の防食面に損傷を受けると腐食しやすい。  |
| 鋼 管                                 | (1)強度が大であり、耐久性がある。<br>(2)強靱性に富み、衝撃に強い。<br>(3)溶接継手によって一体化ができ地盤の変動には長大なラインとして追従できる。<br>(4)加工性がよい。<br>(5)ライニングの種類が豊富。 | (1)溶接継手は熟練工や特殊な工具を必要とする。<br>(2)電食に対する配慮が必要。<br>(3)内外の防食面に損傷を受けると腐食しやすい。   |
| ステンレス鋼管                             | (1)耐食性に優れている。<br>(2)強度的に優れている。<br>(3)軽量である。  | (1)電食に対する配慮が必要。<br>(2)管端が変形しやすい。  |
| 硬質塩化ビニル管及び耐衝撃性硬質塩化ビニル管              | (1)耐食性に優れている。<br>(2)軽量で施工性がよい。<br>(3)加工性がよい。<br>(4)内面粗度が変化しない。   | (1)低温時に耐衝撃性が低下する。<br>(2)特定の有機溶剤及び熱、紫外線に弱い。<br>(3)長期的強度、疲労強度、クリープ強度に留意すること。<br>(4)表面に傷が付くと、強度が低下する。<br>(5)異形管防護が必要。<br>(6)接着継手は、強度、水密性に注意を要する。         |
| ポリエチレン管                             | (1)たわみ性に富む。<br>(2)耐食性が良好で、酸食・アルカリ食及び電食の恐れがない。<br>(3)軽量で耐寒性が大である。<br>(4)長尺物では、少ない継手で施工ができる。                         | (1)可燃性で高温に弱い。<br>(2)有機溶剤、ガソリン等が浸透するため、これらが触れる場所では使用できない。<br>(3)柔軟性であるため外傷を受けやすく、運搬・施工に注意を要する。<br>(4)引っ張り強度が小さい。                                       |
| 水道配水用ポリエチレン管                        | (1)たわみ性に富む。<br>(2)耐食性が良好で、塩害・酸食・アルカリ食及び電食の恐れがない。<br>(3)軽量のため取り扱いが容易で、陸継ぎ長尺管による施行が可能である。                            | (1)可燃性で高温に弱い。<br>(2)有機溶剤、ガソリン等が浸透するため、これらが触れる場所では使用できない。<br>(3)柔軟性であるため外傷を受けやすく、運搬・施工に注意を要する。<br>(4)水場あるいは雨天時にEF接合する場合は、水替及び雨よけ等の処置を講じ、接合部の水付着防止を要する。 |
| 銅 管                                 | (1)引っ張り強度が大きい。<br>(2)耐アルカリ性で、コンクリート及びモルタル内の埋設に適する。<br>(3)管内にスケールの発生がない。  | (1)肉厚が薄く、つぶれやすい。<br>(2)原水に遊離炭素が多い水道には適さない。<br>(3)保管には乾燥した場所が必要。<br>(4)電食を受けやすい。   |



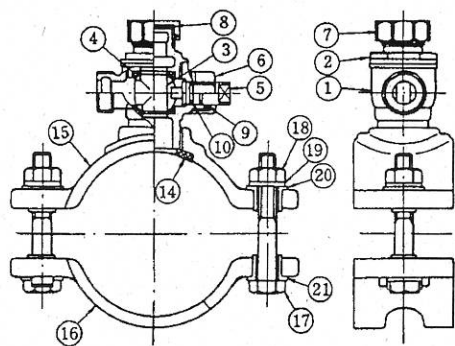
### 3.6 器具類

#### 3.6.1 分水栓

分水栓は、配水管から給水管を分岐し、取り出すための器具であり、規格は、JWWA B 117（サドル付分水栓）がある。また、分水栓と同様の機能を有する分岐用の器具として割T字管などがある。

##### 1 サドル付分水栓

- (1) サドル付分水栓は、配水管に取り付けるサドル機構と止水機構を一体化した構造の栓である。
- (2) 形式としては、止水機構がボール式のA形でねじ式（種類S）とする。
- (3) サドル機構の大きさの呼び径は、取り付ける配水管の管種によって異なり、鑄鉄管用については75～450 mm、硬質塩化ビニル管用及び鋼管用には40～150 mm、硬質塩化ビニルライニング鋼管用及びポリエチレン管用は40～50 mm、水道配水用ポリエチレン管（PEP用EF）は50～100 mmがある。
- (4) 給水管の取り出し口は、止水機構の横にあって、水平方向にユニオンにより給水管と接続する。（図3-4）



| 部品番号 | 部 品 名       | 部品番号     | 部 品 名      |
|------|-------------|----------|------------|
| 1    | 胴           | 9        | 止めピン       |
| 2    | ボール押さえ      | 10,11,12 | リング        |
| 3    | ボール         | 13       | ブッシュ       |
| 4    | ボールシート      | 14       | サドル取付ガスケット |
| 5    | 栓棒(1)(2)    | 15       | サドル        |
|      | 閉止(3)       | 16       | バンド        |
| 6    | 保護ナット(1)(2) | 17,18    | ボルト・ナット    |
|      | 止めナット(3)    | 19       | 平座金        |
| 7    | キャップ        | 20,21    | 絶縁体        |
| 8    | ガスケット       |          |            |

(1) 止水機構ボール式（ねじ式）

図 3-4 サドル分水栓

##### 2 割T字管

割T字管は、鑄鉄製の割T字管の分岐帯に仕切弁を組込み、一体として配水管にボルトを用いて取り付ける構造で、40 mm以上の給水管分岐として使用する。

割T字管には、配水管の材質別に鑄鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管用がある。

#### 3.6.2 止水栓

止水栓は、給水の開始、中止及び装置の修理その他の目的で給水を制限または停止するために使用する給水用具である。

## 1 ボール式止水栓

弁体が球状のため90度回転で全開、全閉する構造であり、逆流防止機能はないが、損失水頭は極めて小さい。(図3-5)

栓棒は、JIS H 3250 のC3604 若しくはC3771 とし、その表面には、JIS H 8617 の3(種類、等級及び記号)の表2Cの1級以上のニッケルクロムめっきを施さなければならない。

(1) 第1ボール式止水栓に使用する場合は、次のとおりとする。

ア JWVA B 108(G)固定形とする。

イ 口径25mm以下は、キー式とする。

ウ 口径40・50mmは、キャップ式とする。

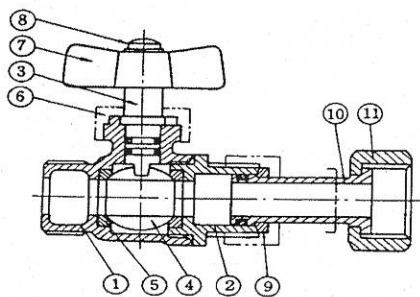
なお、排水機構に使用する場合も同様とする。

(2) 直結ボール式止水栓に使用する場合は、次のとおりとする。

ア JWVA B 108(GE)伸縮形とする。

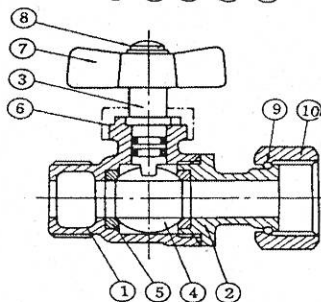
イ 口径25mm以下は、蝶形ハンドルとする。

ウ 口径40・50mmは、丸形ハンドルとする。



| 部品番号 | 部品名    | 部品番号 | 部品名      |
|------|--------|------|----------|
| 1    | 胴      | 7    | ハンドル     |
| 2    | アダプター  | 8    | ハンドル止めビス |
| 3    | スピンドル  | 9    | 伸縮パッキン   |
| 4    | 弁体     | 10   | 伸縮管      |
| 5    | ボールシート | 11   | 袋ナット     |
| 6    | キャップ   |      |          |

(1) 伸縮型



| 部品番号 | 部品名    | 部品番号 | 部品名      |
|------|--------|------|----------|
| 1    | 胴      | 6    | キャップ     |
| 2    | アダプター  | 7    | ハンドル     |
| 3    | スピンドル  | 8    | ハンドル止めビス |
| 4    | 弁体     | 9    | Oリング     |
| 5    | ボールシート | 10   | 袋ナット     |

(2) 固定型

図3-5 ボール式止水栓

## 2 甲形止水栓

止水部が落しコマ構造であり、水平に設置すると逆流防止機能がある。

(1) 甲形は、給水管と接続するソケット(種類A)又はガイドソケット(種類B)の組込みによって、2種類に分類され、大きさの呼び径は13~50mmの6種類がある。

(2) 排水機構に使用すること。

### 3 仕切弁

仕切弁は、弁体が垂直に上下し、全開、全閉できるもので、全開時の損失水頭は極めて小さい。

(1) 給水装置用には、主として呼び圧力 0.735MPa (7.5kgf/m<sup>2</sup>) のものを使用すること。

(2) 形式は、弁体と弁棒ねじ部の構造によって、内ねじ式とする。

(3) 給水管接続部の両端は、フランジ形とする。

(4) 仕切弁は、水道用ソフトシール弁及び水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁とし、各弁の使用用途は次のとおりとする。(図 3-6)

#### ア 水道用ソフトシール仕切弁 (JWWA B 120)

① 呼び径 75~350 mm とする。

② 第 1 止水栓に使用する。

③ 給水管を将来布設延長する管端に使用する。

#### イ 水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 (JWWA B 122)

① 呼び径 75~350 mm とする。

② 給水管を将来布設延長しない管端に使用する。

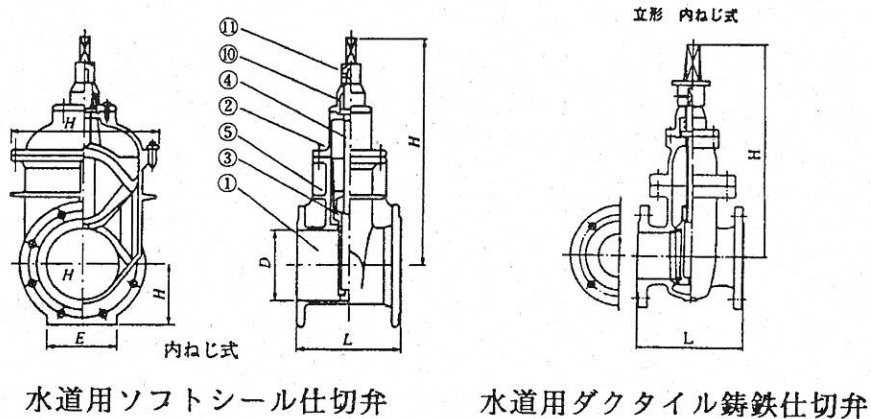


図 3-6 仕切弁

### 3.6.3 給水栓

給水栓は、給水装置において給水管の先端に取り付けられ、水を出したり、止めたりする栓であり、次のようなものがある。

#### 1 水栓類

水栓は、使用者に直接水を供給するための給水用具で、弁の開閉は主にハンドルを回して行うが、中には、レバーハンドルを上下して弁の開閉を行うシングルレバー式の水栓や、自動的に弁の開閉を行う電子式自動水栓などもあり、用途によって

多種多様なものがあるので、使用目的に最も適した水栓を選ぶことが必要である。

## 2 ボールタップ

ボールタップは、フロートの上下によって自動的に弁を開閉する構造になっており、水洗便所のロータンク、受水槽に給水する給水用具である。

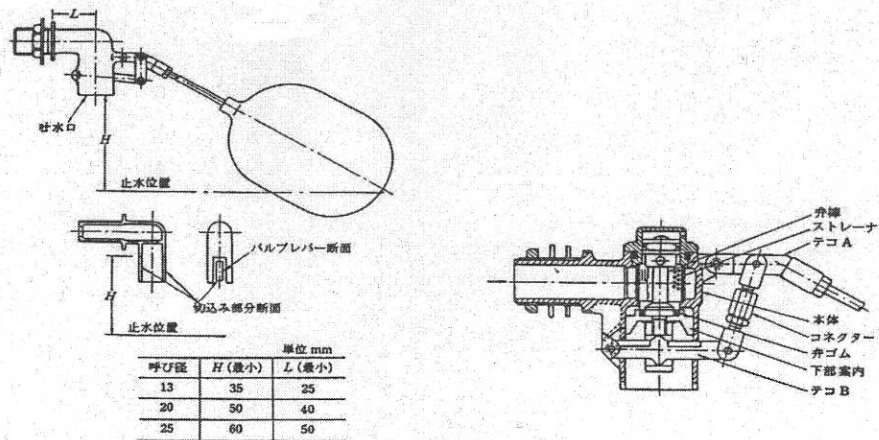
### (1) 一般形ボールタップ

一般形ボールタップは、弁部の構造によって単式と複式に区分され、さらにタンクへの給水方式によりそれぞれ横形、立形の2形式がある。(図3-7)

### (2) 副弁付定水位弁

副弁付定水位弁は、主弁に小口径ボールタップを副弁として組み合わせ取り付けられるもので、副弁の開閉により主弁内に生じる圧力差によって開閉が円滑に行えるものである。主弁が低位置に設置できるため、配管、補修管理が容易に行え、また主弁の開閉は圧力差により徐々に閉止するのでウォーターハンマーを緩和することができる。

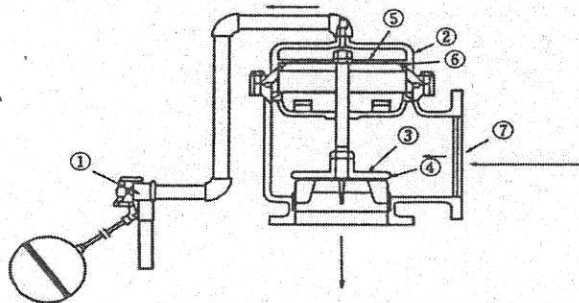
なお、この形式のものには、副弁として電磁弁を組み合わせ使用できるものがある。(図3-8)



単式ボールタップ

複式ボールタップ

図3-7 ボールタップ

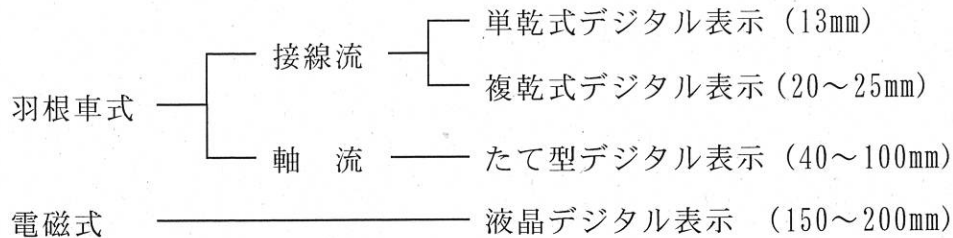


| 番号 | 名称        |
|----|-----------|
| ①  | 副弁        |
| ②  | シリンダ      |
| ③  | 主弁        |
| ④  | 主弁座パッキン   |
| ⑤  | ピストン      |
| ⑥  | ピストン用Oリング |
| ⑦  | ストレーナ     |

図3-8 副弁付定水位

### 3.6.4 水道メーター

水道メーターは、給水装置に取り付け、需要者が使用する水量を積算計量する計量器である。その使用に際しては、各種メーターの特性を考慮するほか、計量法に定める計量器の検定検査に合格したものでなければならない。なお、検定有効期間は 8 年である。



### 3.7 水道用器具及び資材に関する規格

#### 1 日本工業規格 (JIS)

| 記号・番号  | 名 称               | 記号・番号  | 名 称           |
|--------|-------------------|--------|---------------|
| A 5313 | ダクタイル鋳鉄管モルタルライニング | G 5526 | ダクタイル鋳鉄管      |
| B 2061 | 給水栓               | G 5527 | ダクタイル鋳鉄異形管    |
| B 2062 | 水道用仕切弁            | K 6353 | 水道用ゴム輪        |
| B 2063 | 水道用空気弁            | K 6742 | 水道用硬質塩化ビニル管   |
| B 2064 | 水道用バタフライ弁         | K 6743 | 水道用硬質塩化ビニル管継手 |
| B 2301 | ねじ込み式可鍛鋳鉄製継手      | K 6762 | 水道用ポリエチレン管    |
| B 2302 | ねじ込み式鋼管製継手        | K 6763 | 水道用ポリエチレン管継手  |
| B 8410 | 水道用減圧弁            |        |               |

#### 2 日本水道協会規格 (JWWA)

| 記号・番号 | 名 称             | 記号・番号 | 名 称                   |
|-------|-----------------|-------|-----------------------|
| A 103 | 水道用ろ材試験方法       | G 117 | 水道用塗覆装鋼管              |
| B 103 | 水道用地下式消火栓       | G 118 | 水道用塗覆装鋼管異形管           |
| B 107 | 水道用分水栓          | G 120 | 水道用GX形ダクタイル鋳鉄管        |
| B 108 | 水道用止水栓          | G 121 | 水道用GX形ダクタイル鋳鉄異形管      |
| B 109 | 接線流羽根車複湿式水道メーター | H 101 | 水道用銅管                 |
| B 116 | 水道用ポリエチレン管金属継手  | H 102 | 水道用銅管継手               |
| B 117 | 水道用サドル付分水栓      | K 107 | 水道用消石灰                |
| B 120 | 水道用ソフトシール仕切弁    | K 116 | 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管     |
| B 122 | 水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁   | K 120 | 水道用次亜塩素酸ナトリウム         |
| B 129 | 単式逆止弁           | K 127 | 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管       |
|       | 複式逆止弁           | K 128 | 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管継手     |
| B 134 | 減圧式逆止弁          | K 129 | 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管   |
| G 112 | 水道用ダクタイル鋳鉄管     | K 130 | 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管継手 |
|       | (内面エポキシ樹脂粉体塗装)  | K 131 | 水道用硬質塩化ビニル管のゴム輪形鋳鉄異形管 |
| G 113 | 水道用ダクタイル鋳鉄管     | K 144 | 水道配水用ポリエチレン管          |
| G 114 | 水道用ダクタイル鋳鉄異形管   | K 145 | 水道配水用ポリエチレン管継手        |
| G 115 | 水道用ステンレス鋼管      | S 101 | 水道用硬質塩化ビニル管の接着剤       |
| G 116 | 水道用ステンレス鋼管継手    | Z 103 | 水道用バルブのキャップ           |